



ぼくは道の子ども新聞の  
マスコット「ミチガエル」。  
ぼくといっしょに、  
道の役わりについて  
学んでみよう。

もくじ

- P2-3 [特集 子ども記者・道の社会見学取材 2  
「鯉沢バイパス工事現場」]
- P4-5 みちのもの知り広場 3  
道路標識のいろいろ
- P6-7 交通の安全・安心のための  
施設とルール
- P8 ミチガエルの道の塾  
イベントのごあんない

# 道の子ども新聞

2006  
なつごう  
夏号



## まちを元気にする道、 安心・安全なくらしをささえる道



ちいき 地域と地域をむすぶ快適な道は、人やモノの  
移動をより便利なものにして、産業や文化をゆ  
たかにしてくれる。さまざまな交通安全の施設  
や防災施設をそなえた道は、安心・安全なくら  
しをささえてくれる。

くらしといのちを守りはぐくむ大切な道を、  
いろいろな角度から調べてみよう。

「道の子ども新聞」は  
インターネットでも見られます。

国土交通省高崎河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/>

または、上毛新聞社ホームページアドレス

<http://www.raijin.com/>



# 子ども記者・道の社会見学取材 2

# 国道17号鯉沢バイパス工事現場

渋川市の国道17号は、吾妻方面に向かう国道353号とつながるため、観光客などのクルマやバスが通る休日などには、はげしい渋滞がおこっている。鯉沢バイパスは、この渋滞をなくすために計画された延長5.5キロの道路。現在は渋川市東町の国道17号の分岐点から国道353号バイパスまでの2.3キロの4車線化とバイパスから先の延伸部、旧子持村上白井までの3.2キロの工事をすすめている。

今回は渋川空友館で空手を習っている6人が子ども記者として、この鯉沢バイパスの工事現場を見学取材した。

子ども記者があつまつたのは、バイパス沿いにある道の駅「こまち」。みんな、これからはじまる体験にワクワクドキドキ。工事現場の事務所で国土交通省高崎河川国道事務所の大場勉さんと黒岩誠さんから鯉沢バイパス工事の全体の説明を聞いて、さあ、見学のはじまりだ。



大場さん(右)と黒岩さんから説明を聞いた

## 建設中の吾妻新橋 橋の中の空洞に潜入!

まず向かったのは、吾妻川にかかる吾妻新橋の工事現場。いまこの橋は、2車線の橋がすでに使われているんだけど、すぐ横に新しい2車線の橋をつくらせてるんだ。完成するとぜんぶで4車線の橋になるん



橋の長さは240メートル。下から見ると迫力があり、その大きさにおどろいた

だつて。

はじめに橋の下の河原へ行つた。ここで、工事の監督さんから橋のつくり方や構造の話聞いた。

「工事は去年の11月から始まりました。まず、橋を伸ばしていく基礎となる柱頭部をつくって、そのあと、ワーゲンという機械を使って橋になる部分を伸ばしていきます。これを『張出し架設工法』といって、やるべきと同じしくみでバランスをとりながら伸ばします。そして、完全に橋になる部分がつながって現在のような橋のかたちになりました」

子ども記者は次に橋の上にあがり、橋に開いた穴からハシゴで橋の中へ入ることに！ くだん絶対に入れないトンネルのようになっている橋の中に入ることができ、みんな大よろこびだ。

「橋の中がこんな空洞になっているなんて、びっくり!」 洞窟を探索しているみたいで楽しい!」



橋の穴からハシゴでおりると...なんとそこは橋の中! 二度とできない体験に子ども記者は大感激!



左側がすでに利用されている2車線の吾妻新橋。右側がいま工事をすすめている新しい2車線の橋



子ども記者の取材メモ

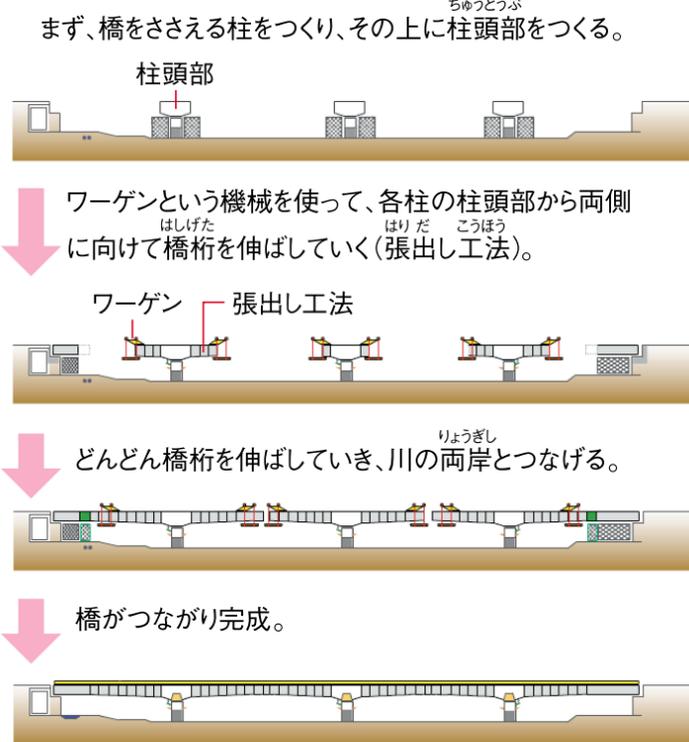
へなぜコンクリートの橋は重みでひびわれないのか

吾妻新橋はPC(プレストレストコンクリート)橋と呼ばれる橋。これはコンクリートにPC鋼線をいれて、それを両端から引っばって、引っばられたPC鋼線がもにもどる力を利用して、クルマの重みでひびわれたり、たわんで沈むのを防いでいる。

へなぜ橋の中は空洞になっているのか

コンクリートでつくられているので、中を空洞にして橋の重さをできるだけ軽くしている。空洞は水道管や電線などを通すための空間として利用されているところもある。

### ■吾妻新橋のつくりかた



子ども記者[道の社会見学取材] 2

大量の土が道路になる  
白井舗装工事現場

次に向かったのは、道の駅「こもち」の北にある白井舗装工事の現場。たくさんの土があつめられて盛り上がったところが将来、バイパスになるという。工事の監督さんが説明してくれた。

「土をたくさんあつめて道路の土台をつくることを盛土といいますが。この道路の盛土はタンブカー約13000台ぶん分の土を使います。土は30センチずつ盛っていく、そのたびにブルドーザーで土をならし、ローラー車でしっかりと固めていきます」

盛土が完成するのには4カ月かかるそうです。そのあとは表面に砂利を敷いて、その上をアスファルトで舗装して道路ができるんだよ。



このくらいの高さまで土を盛るんだ



道路をつくるにはたくさんの土が必要なんだ

子ども記者の取材メモ  
へ生まれかわる生活道路  
土を高く盛って道路をつくる  
と、今までそこを横切っていた道路を遮断してしまふ。すると仕事や暮らしに影響がでてしまうので、コンクリートでつくったボックス状のトンネルや新しい道路をつくったりして、より便利で安全に使えるようにしている。

バイパスをまたぐ橋  
吹屋跨道橋工事現場

次に吹屋跨道橋工事の現場へ行った。ここでは地面の土を掘って道路をつくる掘削の工事と、掘削の両わきの土手の道を橋でつなげる跨道橋の工事を見学。

「橋は吾妻新橋とおなじ種類のPC橋です。掘削の場合、道路がまわりの地面より深いところを通るので、両わきの土手の道路をつなぐ橋が必要になります。この跨道橋は、地域に暮らす人には欠かすことのできない生活のための橋なんです」

工事の監督さんの話を聞きながら、道路の大切さをあらためて知った。そして最後に鯉沢バイパスの終点となる現在の国道17号との合流地点を見学。これからたくさんの土を盛ってバイパスと国道17号をつなげる工事をするそうです。現在、合流地点が低くなっているため、大量の土を盛って道路にしなければならぬんだ。

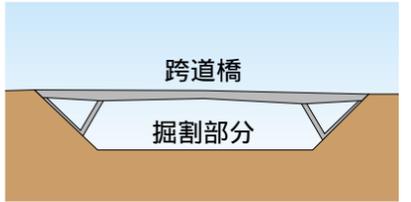


掘削工事で掘った土は盛土に利用している



バイパスをまたぐ跨道橋の土台の鉄筋を組んでいるところ

子ども記者の取材メモ  
道路をつくとひとくちいいっても、役割によってさまざまな会社、人たちが働いていることがわかった。2007年度の完成をめざして、事故やケガのないようにしてほしい。



跨道橋  
掘削部分

完成するとこんな形になる



見学を終えて...

最後に子ども記者に感想を聞くと...(写真右から)

Aくん(6年)「橋の中が空洞になっていて、工事現場でたくさんの人たちが働いているのがよくわかった」

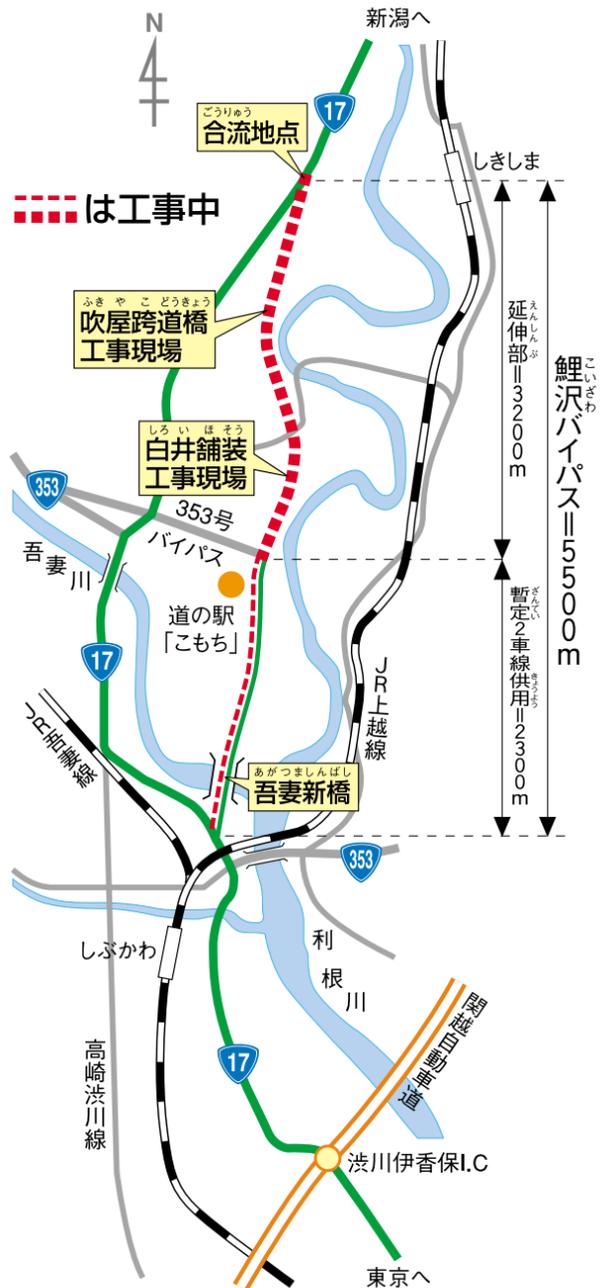
Bくん(5年)「橋のコンクリートの中を通っているピアン線という鉄筋を見ることができてとてもためになった」

Cくん(6年)「橋の中が空洞になっているとは思っていなかった」

Dくん(6年)「橋の工事現場に行くと、話をいろいろ聞くことができたら楽しかった。橋のつくり方がわかって、おもしろかった」

Eさん(5年)「ふだん入ることのできない道路の工事現場に行くことができると、とてもおもしろかった。バイパスが完成するのが楽しみにした」

Fさん(6年)「ふだん見ることのできない工事現場のようすがよくわかった。たくさんの土をつかって道路をつくっているのに驚いた」



道の駅「こもち」



江戸時代にタイムスリップしたような白井宿



情報コーナー

また、道の駅「こもち」の西側にある白井宿は、むかし白井城の城下町として栄えたところなんだ。江戸時代には、三國街道ともつながり、市場町としてにぎわったんだって。いまは観光名所として整備され、土蔵や井戸、用水路などがある。新しいバイパスの近くに古い道があると、おもしろいね。

道の駅「こもち」と「白井宿」

鯉沢バイパス沿いの道の駅「こもち」には、地元でとれた野菜などの農産物直売所やレストラン、トイレ、休憩施設などがある。休憩施設の情報コーナーでは、国道17号の渋滞状況や積雪状況をライブカメラの映像で見ることができ、また、道の駅「こもち」の西側に



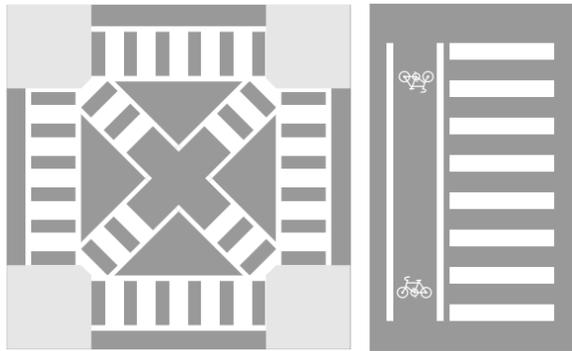


# 交通の安全・安心のための施設とルール

もうすぐ夏休み！ みんなも楽しみにしていると思う。でも、気をつけなければならぬことがあるぞ。それは交通事故。道路は危険といつても、となり合わせだ。そこで事故からみんなを守り、安全・安心な道路を支えているいろいろな施設を紹介しよう。また、安全のための大切なルールも紹介するので、よく覚えておこう。

## 横断歩道

歩行者が道路を安全に横断するために道路上に示されたもので、白色の縞模様を描かれている。交差点や学校の近くなど、多くの子どもが通行するところに設けられているんだ。



斜めにも渡れる横断歩道

ふつうの横断歩道

## 防護柵

防護柵には歩行者自転車用と自動車用があるんだ。歩行者自転車用は横断歩道以外での横断防止や、段差があつて危ないところでの転落防止を目的に設置される。自動車用はクルマが車道から飛び出したりするのを防いでいるんだよ。



まわりの環境に合った色の歩行者自転車用防護柵

## 歩道橋

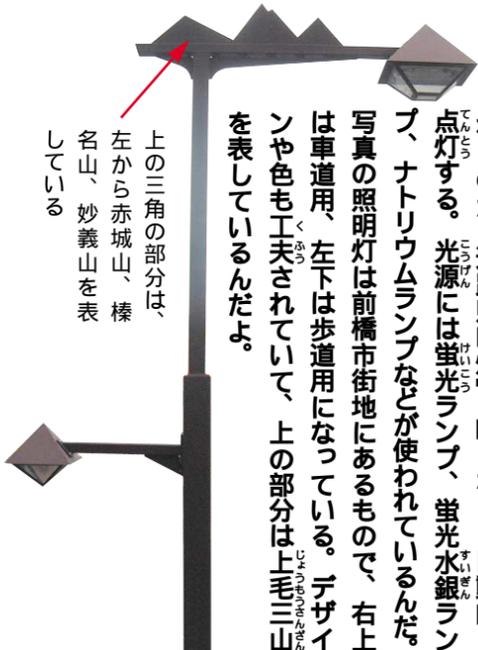
道路をまたぐように設置され、歩行者や自転車などが道路を渡るためにつくられた橋。お年寄りや車いすのために、エレベーターやエスカレーターが設置されている歩道橋もあるんだよ。



自転車のためのスロープがある歩道橋

## 道路照明灯

夜の道路を安全に通行できるように明るく照らしてくれるのが「道路照明灯」。暗くなると自動的に点灯する。光源には蛍光灯ランプ、蛍光水銀ランプ、ナトリウムランプなどが使われているんだ。写真の照明灯は前橋市街地にあるもので、右上は車道用、左下は歩道用になっている。デザインや色も工夫されていて、上の部分は上毛三山を表しているんだよ。



上の三角の部分は、左から赤城山、榛名山、妙義山を表している

## 歩行者のための信号機

### 押しボタン式信号機

ふだんは、車両用信号機を黄色の点滅に、歩行者用信号機を赤にしている。歩行者が押しボタンを押したときだけ車両用信号機を

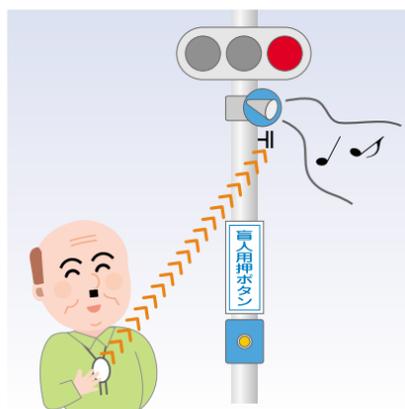


押しボタンを押したときだけ車両用信号機を

赤にして車両を停止させ、歩行者用信号機を青にして歩行者が安全に横断することができるんだよ。

### 弱者感応信号機

お年寄りやからだの不自由な人(交通弱者)のために開発された信号機。利用者が携帯する小型送信機から送られる電波を、信号機が受信して、歩行者専用の青信号の時間を長くしたり、目の不自由な人のための盲人用信号機の操作ボタンを押さなくても遠隔操作によってメロディーや音を流すことができるんだ。



目の不自由な人のための盲人用信号機の操作ボタンを押さなくても遠隔操作によってメロディーや音を流すことができるんだ。

## バス優先レーンのカラー舗装

前橋駅周辺の国道50号と17号では、バス優先レーンをカラー舗装にして、一般車線とバスレーンの区別をはつきりさせているんだよ。そうすることで、バスが時間どおりに走ることができて、一般車からバスへの利用者が増えることが期待される。そうすると全体の交通がよりスムーズになるんだ。



カラー舗装されたバスレーン(前橋市本町の国道50号)

## 「川と道の情報館」だより

### 実験コーナーができたよ!

#### アスファルトの透水実験

道路の表面はアスファルトで作られている。今までのアスファルトは水を通さなかつたので、雨が降ると水がたまってしまった。でも最近は、水を通すアスファルト(排水性舗装)が使われるようになってきているんだ。そのちがいが、実験模型によって目で見てわかるよ。



#### アーチ橋を作ってみよう!

半円の土台の上にブロックを積み上げていき、アーチを作ったら土台をはずしてみよう。すると、なんと橋は崩れないんだ。ブロックは2種類用意してあり、1つは発泡スチロールのブロックで机の上で作ることができ、もう1つは木製のブロックで床の上で作ろう。土台をはずしたらできあがったブロックの上に乗ってみよう。それでも橋は崩れないんだ! みんな試してみよう!



#### 高松立体ペーパークラフトに挑戦

高松立体完成予想イメージ! ジェーパークラフトを作ろう! 高松立体道路のようすを3分割にして作ったもので、断面のようすも見えるんだ。作ってみたいという人は、館内に用意してあるので、ぜひ挑戦してみよう。



#### 「川と道の情報館」あんない図



高崎市通町59-1 幸信ビル1階  
TEL027・330・5060 FAX027・330・5070  
休館日/毎週水曜日、年末年始  
開館時間/10:00~18:00

# 交通の安全・安心のための施設とルール



## 夏休み、道を歩いたり自転車に乗るときはここに注意しよう!

### 道路では絶対に遊ばない

クルマやバイク、自転車、そして多くの人が通行する道路は、もっとも交通事故のおこりやすい場所。

まわりの通行に気をつけながら歩道を歩くこと。歩道がない道路では右側の白線(路側帯)の内側を歩こう。友だちとふざけながら歩いたり、キャッチボールをするなど、道路では絶対に遊んではいけないぞ。



### 道路に飛びださない

子どもたちが道路で事故にあふ原因のひとつが飛びだした。交差点やまがり角でまわりをよく見ないで走り出したり、道路の向かい側にいる人に急いで会おうとして飛びだしてしまうと、事故にあっってしまう。交差点やまがり角では必ずいったん立ち止まって、右、左、右を見て安全を確認してから進むこと。横断歩道や歩行者専用信号機のある道路は、必ず利用して渡ろう。



### 自転車に乗る前に点検整備する

自転車に乗って出かけるときは、必ず点検整備をしよう。タイヤに空気は入っているか。ライトは点灯するか。前後のブレーキはかかるか。ハンドルはグラグラしていないか。点検のやりかたがわからなかったら、おとなの人に教えてもらおう。



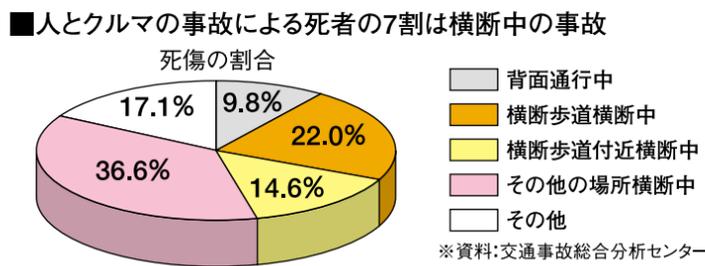
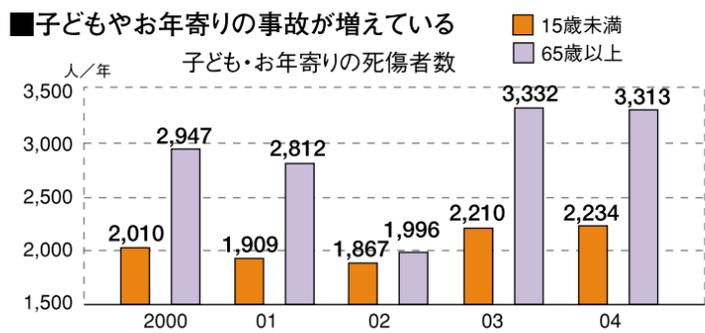
点検整備をしないで出かける、走っている途中で故障したりして、大事故につながることもあるんだよ。

### 行き先とコースを伝える

自転車に乗って出かけるときは、必ず家の人に行き先とコースを伝えて、自転車でも出かけてもいいか聞いてからにすること。それから道路を走るときは道路の左はしを走ること。これらは基本のルールだよ。道幅がせまい道路、クルマがたくさん走っている道路、また商店街のような人通りの多い場所では乗らないこと。



## 数字で見る群馬県の交通状況



群馬県の自動車免許保有率も全国1位の割合は、県人口の68%で、なんと全国1位なんだ。さらに自動車保有率は、一軒の家で1.7台クルマをもっていることになり、全国3位なんだよ。ほかの県にくらべて、それだけたくさんクルマが走っているから交通事故もおこりやすくなるってことだよ。

群馬県は全国的にみて死傷(死んでしまったり大けがをしたりする)事故の発生率が高いんだ。それに左のグラフのように、最近では子どもとお年寄りの事故が増えていて、人とクルマの事故で死んでしまった人の7割は、横断中の事故なんだよ。

とくに夏休み中は子どもの事故が多くなる。だから出かけるときは十分に気をつけよう。

## 道路見える化計画

交通安全のために、課題を「見える」ようにし、最適なやり方で重点的に解決していく。

「道路見える化計画」とは、道路の課題をデータできちんと確認し、最も良い解決方法を見つけたら、一番必要箇所から重点的に対策をしていくという計画なんだ。

また、今まで見えにくかった道づくりを、もっとわかりやすく「見える化」することも、もう一つの目的。たとえば、いろいろな工事をしている時に、何のための工事かわかるように「見える化」していくんだ。

ふだん道路を利用して人たちが、不便に感じることもや直してほしいことなど、さまざまな意見を聞いて、これからの安全な道づくりに役立てているんだよ。

群馬の道をスムーズに! ストレスのない道づくりを進めよう

国土交通省高崎河川国道事務所

http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/

ミチガエルの道の塾

道の子ども新聞

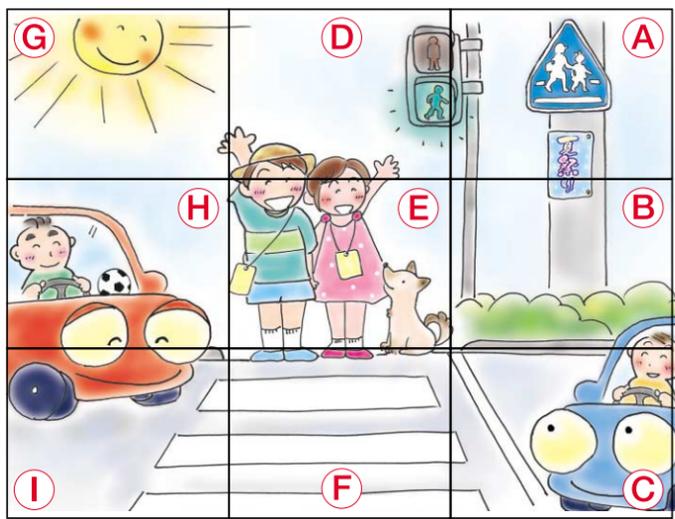


# 道のまちがい探しクイズ

どこかがちがう!?  
3つのまちがいを  
さがして賞品ゲット!



上の2つの絵をよく見くらべてみると、3カ所どこかがちがっている。さして、いったいどこがちがっているのかな? 答えは、左のように絵を9つに分けたA~Iまでの中で、まちがいのある部分の記号を3つ書いてね。さあ、さがしてみよう!



## 正解者には抽選で図書カードプレゼント!

答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・答え・道への意見や疑問などを明記のうえ、はがきかファクス、またはメールで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書カード(千円分)をプレゼント!

あてさき/〒371 8666  
前橋市古市町1 50 21  
上毛新聞社広告局  
「道の子ども新聞」プレゼント係  
ファクス/027・254・9904  
メール/michinoko@raijin.com  
しめきり/2006年8月31日(木)  
当日消印有効

# イベントのじあんない

8月は道路ふれあい月間です。

## 「道路フェア2006」開催!

8月27日(日)午前9時  
前橋市敷島公園 ホリデーイン前橋会場内

### メインステージ

- キャラクターショー
- 道路ものしり × クイズ大会
- FMぐんま・知うとく!
- かわみちサイトスペシャル
- (毎週火曜午後4時30分から放送中!)
- パーソナリティー 市川まどかさん

### 道路フェアランド

- クイズラリー
- 工作教室、体験教室など
- 特殊車両の展示、試乗など

内容は一部変更の場合があります。詳細は決まり次第HPでお知らせします。  
(http://www.kr.mtl.go.jp/takasaki)



昨年のイベントの様子

### 川と道の情報館

## 「夏休み親子かわみち教室」参加者募集!

川と道の情報館では8月3日(木)4日(金)の午後1時から午後3時まで「夏休み親子かわみち教室」を開催します。橋について楽しく学ぶ日替教室のあと、実際に工作で「橋」をつくってみます。夏休み自由研究のテーマにもピッタリ。大勢参加してね。

申し込み/県内在住が在勤で、お子さんが小学3年生以上の、親子で参加できる方  
申し込み先/川と道の情報館  
TEL027・33005060まで電話でお申し込みください。先着順で定員(両日とも親子10組まで)になります。締め切らせていただきます。



## 「親子でゆたかな自然を体験 わくわくネイチャースクール」開催!

7月23日(日)・午前9時~午後4時ごろまで、前橋市大胡町の道の駅「くりーんふらわ」牧場・大胡で「わくわくネイチャースクール」野鳥も人も地球の仲間inおごこを開催しますので、ぜひご参加ください。

このイベントは財団法人日本野鳥の会が主催し、国土交通省高崎河川



昨年(道の駅「川場田園プラザ」)

## 「夏休み小学生現場見学会」参加者募集!

(国道17号鯉沢バイパス) 8月23日(水)・午後1時から3時ごろまで(2時間程度)、本紙でも紹介している渋川市の国道17号の鯉沢バイパス工事現場(吾妻新橋)で、夏休み小学生現場見学会を開催します。ぜひご参加ください。

対象/小学生(保護者同伴)  
人数/20組(40人)  
申し込み/官製はがきかファクス

お問い合わせは  
電話027・345・6039



昨年の見学会の様子

読者のみなさんから提供していただいた個人情報は、プレゼント当選者の発送用として使用させていただきます。それ以外の「目的外利用」はいたしません。  
**おたより募集中!** 感想・意見・質問・取り上げてほしい記事などをどしどし送ってください。  
はがき/〒371-8666 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社広告局「道の子ども新聞」係  
TEL/027・254・9944 ファクス/027・254・9904 メール michinoko@raijin.com